

# 文保寺楼門

ぶんぼうじろうもん

市指定

所在地：味間奥



創建の門は、鎌倉の建長寺に模して建てられ、天正年間（1573～92）の兵乱で焼失したと伝えられている。現存する門は、その直後に再建されたものとされ、篠山市内の楼門中最大規模のものである。

三間一戸、入母屋造で、現在屋根は銅板葺となっている。肘木に唐様が見られるが、全体的には和様を基調とする。下層部は改修によって新しくなっているものの、上層部に再建時の古い部材が認められる。